

第2回早石修記念賞

公益財団法人 小野医学研究財団（理事長：福島 大吉）は、2018年11月28日（水）に開催されました理事会において、徳島大学 名誉教授 山本 尚三博士に「2018年度 第2回早石修記念賞」を贈呈することを決定いたしました。受賞者には、正賞（楯）、副賞 500万円が贈られました。

贈呈式および記念講演会は、2019年6月1日（土）午後5時00分より、千里ライフサイエンスセンター（大阪）にて執り行われました。

《受賞者》

山本 尚三（やまもと しょうぞう）博士

徳島大学 名誉教授



《受賞対象となった研究業績》

「アラキドン酸酸素添加酵素の酵素学および分子生物学的研究」

山本 尚三博士は、ハーバード大学におけるスクワレン代謝の研究を背景として、京都大学・早石教授の下で酸素添加酵素の研究を進め、我が国におけるプロスタグランディン（PG）研究の礎を創った。特筆すべきは、PGE₂がPGエンドペルオキシド合成酵素とその後のPGE合成酵素の二段階の反応から生成すること、ヘム蛋白であるPGエンドペルオキシド合成酵素が酸素添加酵素（シクロオキシゲナーゼ）とペルオキシダーゼの二つの反応を触媒する多機能酵素であることを証明した研究である。さらに放射標識 PG エンドペルオキシドを生合成し、これを基質として各種のプロスタグランジン産生酵素の実態を明らかにした研究は、分子生物学などを手法とする現在の潮流を産んだ先導的な業績といえよう。また、山本氏の研究はトロンボキセン合成酵素阻害薬の開発に直結し、人類の福祉に多大な貢献した。

これらの業績は「脂質研究に於ける独創的な研究による新しい研究分野の確立」を対象とする早石修記念賞の受賞者としてふさわしいものと考えられる。

尚、2019年6月1日に開催されました贈呈式には、山本 尚三博士の代理として、ご子息の椿 頼尚氏が出席されました。

《略歴》

- 1960年 3月 大阪大学医学部卒業
- 1961年 4月 大阪大学大学院医学研究科入学
- 1963年 4月 京都大学大学院医学研究科へ転入学
- 1964年 4月 京都大学医学部医化学第一講座助手
- 1967年 7月 米国ハーバード大学化学教室研究員 (1969年 4月まで)
- 1972年 10月 京都大学医学部医化学第一講座講師
- 1975年 5月 京都大学医学部医化学第一講座助教授
- 1979年 1月 徳島大学医学部生化学講座教授
- 1994年 2月 徳島大学評議員 (1996年 1月まで)
- 1994年 7月 徳島大学医学部医学科長 (1995年 10月まで)
- 1999年 4月 徳島大学名誉教授
- 日本たばこ産業医薬総合研究所顧問 (2001年 3月まで)
- 2001年 4月 京都女子大学家政学部食物栄養学科教授 (栄養学第3研究室担当)
- 2007年 4月 京都女子大学家政学部非常勤講師 (2017年 9月まで)